

土壌病害・土壌害虫・線虫・一年生雑草に

クロルピクリン液剤の使い方



クロピク劇場

其の壱



消毒前の準備

クロルピクリンの注入には、防護マスクや保護メガネ、被覆シートが必要です。作業の前に点検をしておきましょう。

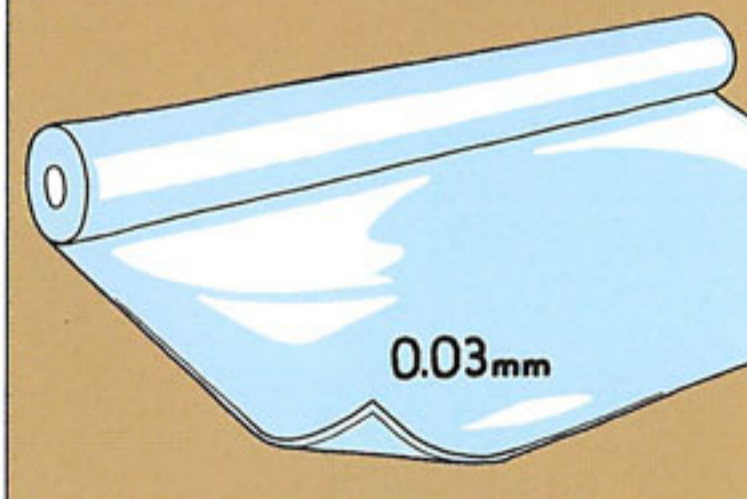


- ・マスク（吸収缶付きの防護マスク）
- ・メガネ（ゴーグル型の保護メガネ）



・畑（軽く握って割れ目ができる程度が、適正な水分状態）

人家・畜舎・鶏舎周辺では、**0.03mm**以上の厚いシートを使用



※消石灰を施肥した場合は、10日以上おいてからクロルピクリンを注入してください。

クロルピクリン工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-14-7（第一中央ビル）
TEL.03-3553-7050 FAX.03-3553-7051

指導・（社）日本くん蒸技術協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6（植調会館）
TEL.03-3833-6923 FAX.03-3833-6925

注入・被覆

注入は防護マスクと保護メガネを着けて、作業してください。



- ・不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用
- ・注入は午前中か夕方の気温が低い時間に
- ・風下から風上に向かって作業
- ・人家や畜舎が風下にあるときは、作業を中断

0.03mm以上

注入したら、すぐにシートで地表面を被覆してください。(人家・畜舎・鶏舎付近では**0.03mm**以上の厚いものを使用)



クロピク劇場

其の弐



クロルピクリンの処理技術

クロルピクリンの注入には専用の注入機が必要です。



手動式注入機

(圃場の隅、ハウス支柱の隙間など、他の機械では無理な場所の消毒に適しています。処理後、速やかにシート被覆を行ってください。)



全面マルチ土壌消毒法

(注入と同時に自動的にシート被覆を行いますので、省力的で安全性の高い方法です。)



テラーけん引式土壌消毒器

(管理機や耕耘機に連結して使います。小型で小回りがきき、手軽に作業ができます。処理後、速やかにシート被覆を行ってください。)



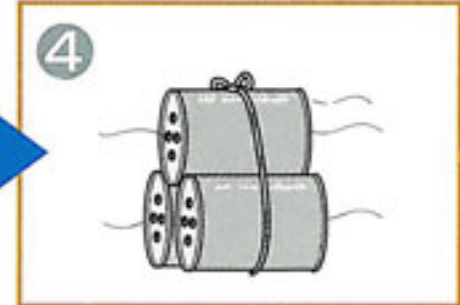
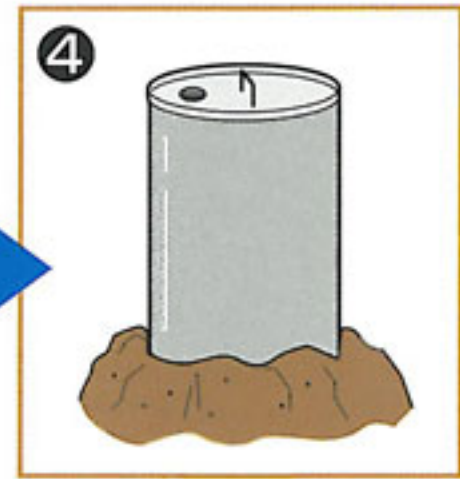
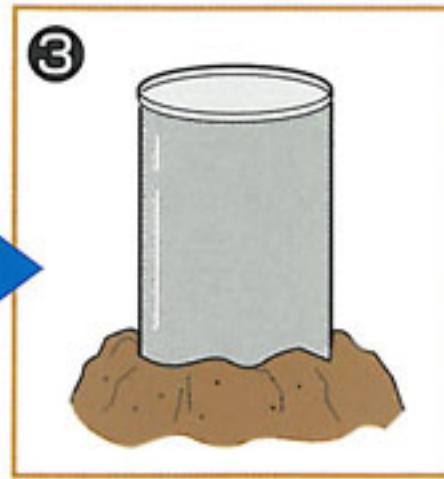
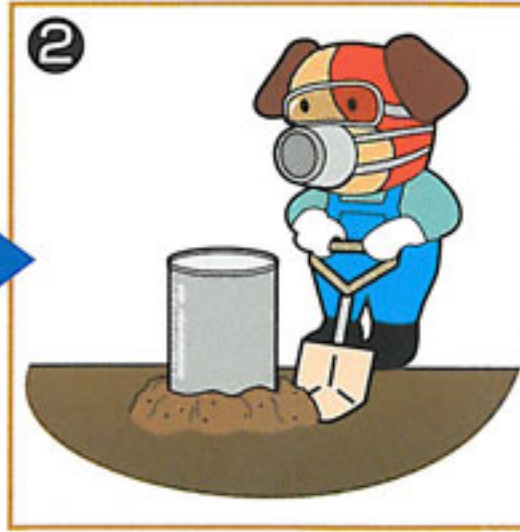
マルチ畦内同時処理

(注入と同時に自動的にシート被覆を行いますので、省力的で安全性の高い方法です。)

ハウスでの使い方

ハウス内での消毒はガスが滞留しやすいため、開口部を開け放したまま注入作業を行ってください。作業後はガスがハウスの外に漏れないようにすべての開口部を閉鎖し、立ち入り禁止の表示をしてください。作業の手順は露地と同じです。

空き缶の処理



⑤ 回収

手順

1. 残液処理

◎缶の中のクロルピクリンはできる限り使い切ってください。

①周囲に影響を及ぼさない場所に小さな窪みを作り、缶の口栓をはずし、窪みの中に収まるよう缶をひっくり返し倒立させます。

②缶が倒れないよう、土寄せをしてください。この時、缶の中の残液が出やすくなるよう、傾かないように立ててください。

[1~2日で缶の残液はなくなります]

2. 残臭処理

③そのまま缶を倒立させておくと、中の臭気は徐々に抜けていきます。[ほぼ1ヶ月で臭気は抜けます]

④1ヶ月後、缶を再度ひっくり返し上向きにし、臭いを確認します。臭いが残っていればそのまま1週間静置し、完全に臭いがなくなるのを待ちます。

◎短期間で確実に臭気を抜く方法

③口栓を開け、缶の底面に3、4ヶ所、孔を開けます。

④周囲に影響のない場所に缶を横倒しにし、風通しがよくなるようにします。缶が風で転がらないように、2~3缶を図のようにロープ等で束ねます。[およそ3日で臭いは抜けます]

⑤臭いが完全に抜けたことを確認して、圃場から回収しましょう。

被覆除去



被覆除去は防護マスクと保護メガネを着けて、作業してください。

くん蒸期間の表を目安に、一定期間被覆をしたままの状態にしてください。
くん蒸終了後は、シートを除去してください。

● 標準的なくん蒸期間

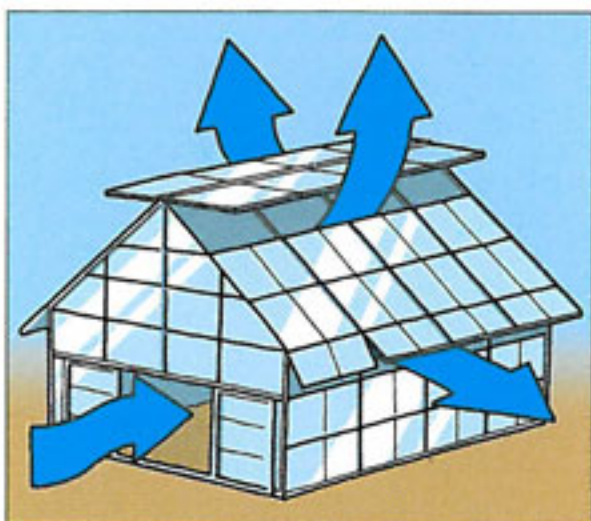
平均地温	くん蒸期間
25~30℃	約10日
15~25℃	10~15日
10~15℃	15~20日
7~10℃	20~30日

植え付け

ガスが抜けたことを確認した上で植え付けを行います。植え付け前に念のため、畑の2~3ヶ所を掘ってガスの臭いがしないことを確認してください。
一定期間を経てもガスが抜けない場合、強制的にガス抜きを行います。

保管

クロルピクリン剤は鍵のかかる冷暗所に保管してください。



①開口部を開け放して注入作業を開始します。



②くん蒸中はすべての開口部を閉鎖し、立ち入り禁止の表示を行います(すき間や破れ目があれば目張りしてください)。

③ガスの濃度が十分に下がったことを確認してから、植え付けを行います。

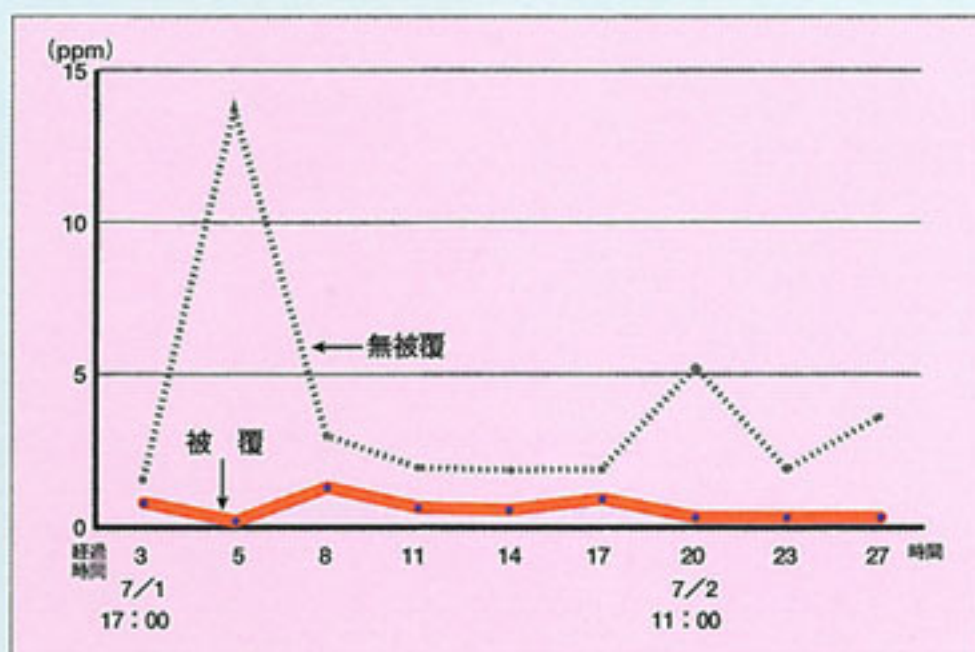
安全性と効きめを高めるための シートによる被覆の効果

効果1

環境に対する安全性を高めます。
無被覆に比べて、被覆した場合の地表面ガス濃度は非常に低い状態を保っています。

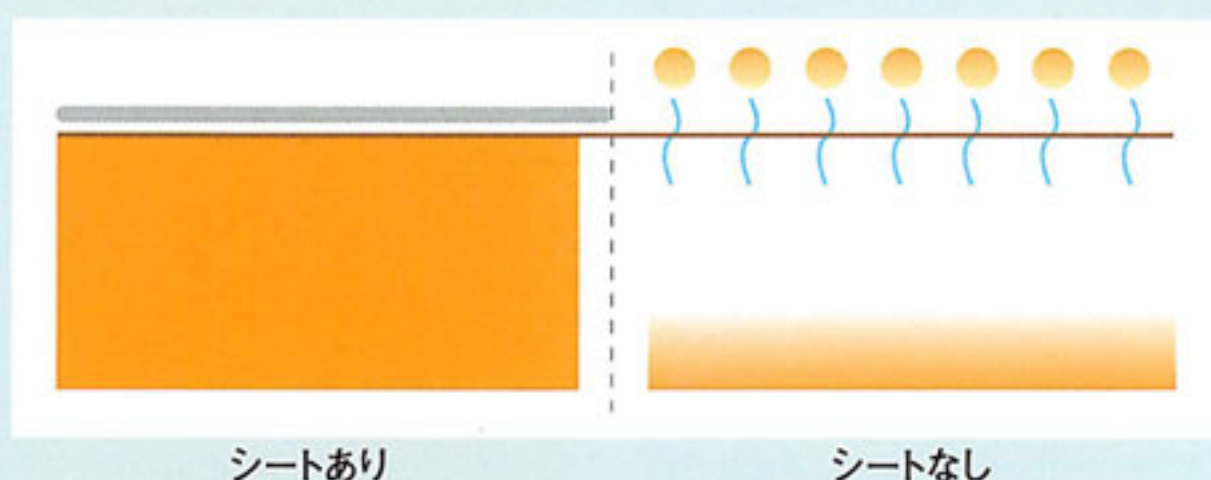
効果2

防除効果を高めます。
無被覆の場合、表層部のガスが揮散し、効果不足を起こします。



注意

ガス拡散を防ぐための土壌注入後の「水封」という使用方法は、平成7年度農薬登録事項から削除されました。使用にあたってはシートによる被覆が義務づけられています。



応急処置

1. 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受けてください。洗眼の際は、まぶたの隅々まで水がいきわたるようにしてください。

2. 皮膚に付着した場合

直ちに付着または接触部を多量の水や石けん水で十分洗い流してください。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせ、医師の手当てを受けてください。

3. 吸入した場合

直ちに患者を毛布にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の手当てを受けてください。呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行ってください。呼吸困難な時は酸素吸入を行ってください。

クロルピクリン剤を保管するときは、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

お問い合わせ (TELは平日9:00~17:00、土日祝日を除く。FAXは24時間対応。)

南海化学工業株式会社

〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目12番19号
(四ツ橋スタービル)
TEL.06-6532-5592 FAX.06-6532-5597

三井化学アグロ株式会社

〒105-7117 東京都港区東新橋1丁目5番2号
(汐留シティセンター)
☎0120-104720 FAX.03-3573-9890

日本化薬株式会社

〒102-8172 東京都千代田区富士見1丁目11番2号
(東京富士見ビル)
TEL.03-3237-5223 FAX.03-3237-5089

クロルピクリン工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目14番7号
(第一中央ビル)
TEL.03-3553-7050 FAX.03-3553-7051